

受験番号

次世代学校教育創成
サブプログラム

令和6年度

筑波大学大学院 教育学学位プログラム 博士前期課程
次世代学校教育創成サブプログラム入学試験問題（10月実施）

現職教員 1年制プログラム 小論文

(10:00~12:00)

解答要領

次の事項に注意して解答しなさい。

1. 「解答はじめ」の合図があるまでは解答を始めてはいけません。
2. 「解答やめ」の合図があれば直ちに筆記用具を置いてください。合図の後も筆記用具を持っている場合には不正行為と見なします。
3. 小論文の問題用紙の枚数は〔スクールリーダーシップ開発分野〕が1枚、〔英語教育分野〕が4枚です。
4. 〔スクールリーダーシップ開発分野〕〔英語教育分野〕のいずれかの分野を選択して解答してください。
5. 志望する分野及び解答する問題の番号を答案用紙の最初に記入してください（例：スクールリーダーシップ開発分野 問題1）。
6. 使用する答案用紙の枚数は、各問いの指示に従ってください。指示がない場合は、使用する枚数は任意とします。答案用紙のホチキスは外さないでください。
7. 日本語で解答してください。

【 令和6年度筑波大学大学院教育学学位プログラム博士前期課程
次世代学校教育創成サブプログラム入学試験問題 】

学校教育領域

小論文（スクールリーダーシップ開発分野）

1枚のうち 1枚目

次の2つの問いの両方に答えなさい。答案用紙の使用枚数の指定はありませんが、解答の際は必ず問題番号を明示し、それぞれに別の答案用紙を使用してください。

問題 1.

現代公教育の重要な基本理念として教育の機会均等がある（教育基本法第四条）。他方で、近年の日本では教育機会の不平等（educational inequality）や教育格差の拡大が問題視されることが少なくない。現存する教育機会の不平等や教育格差に関わる問題状況について具体的な例を挙げて説明し、それらの解決のために必要な手立て・方策について論じなさい。

問題 2.

近年、日本の教育政策において「持続可能な社会（sustainable society）の創り手の育成」や「日本社会に根差したウェルビーイング（well-being）の向上」の考え方が重視されている。それらのコンセプトの背景と意義について、教育課題の具体例をもとに論じなさい。

【 令和6年度筑波大学大学院教育学学位プログラム博士前期課程
次世代学校教育創成サブプログラム入学試験問題 】

学校教育領域

小論文（英語教育分野）

4枚のうち 1枚目

問題1, 2の両方に答えなさい。解答の際は必ず問題番号を明示し、それぞれに別の答案用紙を使用してください。

問題 1.

以下の文章の内容に基づいて、英語学習者のライティングにおける正確さと複雑さを測定する指標としてどのようなものがあるのか、そしてそれらの留意点は何かを解答用紙1枚以内で述べなさい。

（著作権法に基づき削除）

小論文（英語教育分野）

4枚のうち 2枚目

（著作権法に基づき削除）

小論文（英語教育分野）

4枚のうち 3枚目

（著作権法に基づき削除）

出典：

Polio, C. (2012). How to research second language writing. In A. Mackey & S. M. Gass (Eds.), *Research Methods in Second Language Acquisition: A Practical Guide* (pp. 139–157). Oxford, England. Wiley-Blackwell. (pp. 146–147をもとに作成)

問題 2.

近年、特に中学校以上の学校英語教育において、読んだり聞いたりした内容をメモなど何らかの補助を用いながら第三者に伝える「リテリング」の活動が広く行われている。リテリングの利点や手順、指導上の留意点について、答案用紙2枚以内で具体的に述べなさい。なお、指導を想定する校種は問わないが、どの校種を想定したものであるかを明記すること。